若草集会所更新プロジェクトに係る「別紙7 若草集会所更新プロジェクトにおける 広島市公共施設福祉環境整備要綱の適用範囲」の修正

令和7年10月10日

令和7年8月27日付けで公示しました「若草集会所更新プロジェクトに係る公募型プロポーザル」について、下表のとおり「別紙7 若草集会所更新プロジェクトにおける広島市公共施設福祉環境整備要綱の適用範囲」の一部の適合識別を修正します。

広島市長 松井 一實

修正内容

ページ/整備箇所/ 項目	修正前	修正後
P 1 1 敷地内通路/ 幅員	識別:全て白色→適合必須	識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分 は適合必須、灰色部分は適合任意
	(1) 歩行通路の幅員は、180 cm以上とする。ただし、駐車場内通路にあっては、120 cm以上とすることができる。(2) 門扉の幅員及びバリカー間隔は、「3 屋外出入口の有効幅員」に準ずる。	(1) 歩行通路の幅員は、180 cm以上とする。ただし、駐車場内通路にあっては、120 cm以上とすることができる。(2) 門扉の幅員及びバリカー間隔は、「3 屋外出入口の有効幅員」に準ずる。
P 2 7 トイレ/腰掛 け式便器ブース	識別:全て白色→適合必須	識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分 は適合必須、灰色部分は適合任意
	(1) 全てのトイレに、手すり付き腰掛け式便器ブースを1か所以上設ける(男子用と女子用の区別がある場合は、それぞれに1か所以上設ける。)。 (2) 腰掛け式便器の便座は、1か所以上を温水洗浄便座(温水でおしり等を洗浄する機能を持つ腰掛け式便座をいう。以下同じ。)とすることが望ましい。 (3) 手すりを設けたブースの出入口の有効幅員は、80 cm以上とし、その他は、65cm以上とするよう努める。 (4) 戸は、原則として外開き戸又は引き戸とする。	(1) 全てのトイレに、手すり付き腰掛け式便器ブースを1か所以上設ける(男子用と女子用の区別がある場合は、それぞれに1か所以上設ける。)。 (2) 腰掛け式便器の便座は、1か所以上を温水洗浄便座(温水でおしり等を洗浄する機能を持つ腰掛け式便座をいう。以下同じ。)とすることが望ましい。 (3) 手すりを設けたブースの出入口の有効幅員は、80 cm以上とし、その他は、65cm以上とするよう努める。 (4) 戸は、原則として外開き戸又は引き戸とする。

ページ/整備箇所/項目	修正前	修正後
P 2 7 トイレ/手す	識別:全て白色→適合必須	識別:全て灰色→適合任意
り付き小便器	(1) 男子用トイレに、手すり付きストール小便器を1か所以上設け	(1) 男子用トイレに、手すり付きストール小便器を1か所以上設け
	る。 (2) 設置箇所は、原則として出入口	る。 (2) 設置箇所は、原則として出入口
	に最も近い位置とする。 (3) 便器の受け口の高さは、35cm	に最も近い位置とする。 (3) 便器の受け口の高さは、35cm
D 0	以下とする。	以下とする。
P 2 7 トイレ/手す り付き等洗面器	識別:全て白色→適合必須 	識別:一部白色、一部灰色→白色部分 は適合必須、灰色部分は適合任意
りいる寺が囲船	(1) 男女それぞれの洗面所に、レバ	(1) 男女それぞれの洗面所に、レバ
	ー式又はプッシュ式その他操作	ー式又はプッシュ式その他操作
	が容易な水栓器具を備えた、手す	が容易な水栓器具を備えた、手す
	り付き洗面器又は左右にカウン	り付き洗面器又は左右にカウン
	ターを設けた洗面器を1か所以	ターを設けた洗面器を1か所以
	上設ける。ただし、車椅子使用者	上設ける。ただし、車椅子使用者
	も利用できる洗面器として設け	も利用できる洗面器として設け
	る場合には、原則としてカウンタ	る場合には、原則としてカウンタ
	一式とする。	一式とする。
	(2) 車椅子使用者も利用できる洗	(2) 車椅子使用者も利用できる洗
	面器を設ける場合には、「14 カ	面器を設ける場合には、「14 カ
	ウンター、公衆電話台等」に準じ	ウンター、公衆電話台等」に準じ
	た高さ及び構造とする。	た高さ及び構造とする。
	(3) 洗面器の鏡は、傾斜鏡とせず、	(3) 洗面器の鏡は、傾斜鏡とせず、
	また、車椅子使用者も利用できる	また、車椅子使用者も利用できる
	洗面器の場合には、洗面器にでき	洗面器の場合には、洗面器にでき
	る限り近い位置を鏡の下端とす	る限り近い位置を鏡の下端とす
	る。	る。

ページ/整備箇所/	修正前	修正後
項目		
P 3	識別:全て灰色⇒適合任意	識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分
8 バリアフリー		は適合必須、灰色部分は適合任意
トイレ/ブース		
の設置場所及び	(1) 車椅子使用者等対応トイレの	(1) 車椅子使用者等対応トイレの
設置数/車椅子 使用者等対応ト	ブースは、ア、イのとおり設ける。	ブースは、ア、イのとおり設ける。
世別名等対応ト イレ	ア 不特定かつ多数の者が利用する建築物、障害者や高齢者等の	ア 不特定かつ多数の者が利用する建築物、障害者や高齢者等の
	利用の多い建築物、児童館又は	利用の多い建築物、児童館又は
	学校で、床面積の合計が 2,000	学校で、床面積の合計が 2,000
	m以上のものには、市民が利用	m以上のものには、市民が利用
	する階にそれぞれ1か所以上設	する階にそれぞれ1か所以上設
	けることを原則とする。	けることを原則とする。
	イ 不特定かつ多数の者が利用す	イ 不特定かつ多数の者が利用す
	る建築物又は障害者や高齢者等	る建築物又は障害者や高齢者等
	の利用の多い建築物で、床面積	の利用の多い建築物で、床面積
	の合計がおおむね 300 ㎡以上の	の合計がおおむね 300 mg以上の
	もの、児童館又は学校には、建	もの、児童館又は学校には、建
	築物の主要な屋外出入口のある	築物の主要な屋外出入口のある
	1 階等の市民の往来が多い階及	1階等の市民の往来が多い階及
	び多人数が利用するホール等の	び多人数が利用するホール等の
	ある階にそれぞれ1か所以上設	ある階にそれぞれ 1 か所以上設
	ける。	ける。
	(2) ブースは、男女共用とする。	(2) ブースは、男女共用とする。
P 3	識別:全て灰色⇒適合任意	識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分
8 バリアフリー		は適合必須、灰色部分は適合任意
トイレ/ブース		
の広さ/車椅子	(1) ブースの広さは、児童館及び学	(1) ブースの広さは、児童館及び学
使用者等対応ト イレ	校にあっては、内法 200 cm×200 cm、建築物の主要な屋外出入口の	校にあっては、内法 200 cm×200 cm、建築物の主要な屋外出入口の
	ある1階等の市民の往来が多い	ある1階等の市民の往来が多い
	階及び多人数が利用するホール	階及び多人数が利用するホール
	等のある階のそれぞれ1か所以	等のある階のそれぞれ1か所以
	上は、内法 220 cm×285 cmを標準	上は、内法 220 cm×285 cmを標準
	とする。なお、その他のものにあ	とする。なお、その他のものにあ
	っては、車椅子使用者が円滑に利	っては、車椅子使用者が円滑に利
	用することができる広さとする。	用することができる広さとする。
	(2) 建物構造上やむを得ない場合	(2) 建物構造上やむを得ない場合
	にあっては、内法 150 cm×200 cm	にあっては、内法 150 cm×200 cm
	を標準とすることができる。	を標準とすることができる。

ページ/整備箇所/項目	修正前	修正後
P 3	識別:全て灰色→適合任意	識別:全て白色→適合必須
8 バリアフリー		
トイレ/ブース	(1) ブースの出入口の有効幅員は、	(1) ブースの出入口の有効幅員は、
の出入口/車椅	90 cm以上とする。	90 cm以上とする。
子使用者等対応 トイレ	(2) 戸は、引き戸とし、円滑に開閉できるものとする。	(2) 戸は、引き戸とし、円滑に開閉できるものとする。
	(3) 手動式の戸の場合、把手は棒状	(3) 手動式の戸の場合、把手は棒状
	把手とする。	把手とする。
	(4) 自動式の戸の場合、戸の開閉ス	(4) 自動式の戸の場合、戸の開閉ス
	イッチは、戸から 70cm 以上離して	イッチは、戸から 70cm 以上離して
	設置し、その設置高さは100cm程	設置し、その設置高さは100cm程
	度とする。	度とする。
	(5) 出入口には、段を設けない。	(5) 出入口には、段を設けない。
	(6) 出入口前後の床は、同一レベル	(6) 出入口前後の床は、同一レベルの水平床面とし、動線に応じた広
	の水平床面とし、動線に応じた広さを確保する。	さを確保する。
P 3	識別:全て灰色⇒適合任意	識別:全て白色⇒適合必須
8 バリアフリー		
トイレ/ブース	(1) 腰掛け式便器を設ける。	(1) 腰掛け式便器を設ける。
に設ける設備/	(2) 腰掛け式便器の便座は、温水洗	(2) 腰掛け式便器の便座は、温水洗
共通	浄便座とすることが望ましい。	浄便座とすることが望ましい。
	(3) 外径 3~4 cm程度の手すりを	(3) 外径 3 ~ 4 cm程度の手すりを
	設ける。	設ける。
	(4) ブース内に洗面器を設ける場合は、水や肥果ないが、ボカはプ	(4) ブース内に洗面器を設ける場
	合は、水栓器具をレバー式又はプッシュ式その他操作しやすいも	合は、水栓器具をレバー式又はプッシュ式その他操作しやすいも
	のとし、鏡は、傾斜鏡としない。	のとし、鏡は、傾斜鏡としない。
	(5) おむつやストーマ装具等を廃	(5) おむつやストーマ装具等を廃
	棄できる大きさの汚物入れを設	棄できる大きさの汚物入れを設
	ける。	ける。
	(6) 出入口には、誰でも利用できる	(6) 出入口には、誰でも利用できる
	ような名称等の表示はせず、ブー	ような名称等の表示はせず、ブー
	ス内の設備や機能等を、文字やピ	ス内の設備や機能等を、文字やピ
	クトグラム等(当該内容が日本産 業担 IIS 7 8910 に実められてい	クトグラム等(当該内容が日本産 業担 IIS 7 9210 に字められてい
	業規 JIS Z 8210 に定められている場合は、これに適合するもの)	業規 JIS Z 8210 に定められている場合は、これに適合するもの)
	により、分かりやすく表示し、利	により、分かりやすく表示し、利
	用対象者を識別しやすいように	用対象者を識別しやすいように
	配慮する。	配慮する。

ページ/整備箇所/項目	修正前	修正後
P 4 8 バリアフリー トイレ/ブース	識別:全て灰色→適合任意	識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分 は適合必須、灰色部分は適合任意
トイレ/ソース に設ける設備/ 車椅子使用者等 対応トイレ	(1) 腰掛ける。 (2) ででは、 (2) ででは、 (3) では、 (4) では、 (5) あるという。 (5) あるいい、 (6) からるには、 (7) がは、 (7) がは、 (8) では、 (8) では、 (9) では、 (9) では、 (1) では、 (1) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (7) では、 (8) では、 (9) では、 (9) では、 (1) では、 (1) では、 (1) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (5) では、 (6) では、 (7) では、 (7) では、 (8) では、 (8) では、 (9) では、	(1) 腰掛 42 cm 44 cm 42 cm 42 cm 44 cm 42 cm 42 cm 44 cm 42 cm 44
P 4	きる。 識別:全て白色⇒適合必須	きる。 識別:一部白色、一部灰色⇒白色部分
10 階段(主たる 階段)/形状		は適合必須、灰色部分は適合任意
	(1) 回り段を設けない。(2) 蹴込みは2cm以下とし、会議場等ホールに通じる階段にあっては、蹴上げは16cm程度、踏面は30cm程度とする。	(1) 回り段を設けない。(2) 蹴込みは2cm以下とし、会議場等ホールに通じる階段にあっては、 蹴上げは16cm程度、踏面は30cm程度とする。
P 4 10 階段(主たる	識別:全て白色→適合必須	識別:全て灰色⇒適合任意
階段) /形状	(1) 会議場等のホールに通じる階 段の幅員は、150cm以上とする。	(1) 会議場等のホールに通じる階段 の幅員は、150cm以上とする。